



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 菱電商事株式会社

コード番号 8084 URL <http://www.ryoden.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 山下 聡

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 田中信三

TEL 03-5396-6111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	147,511	1.0	2,324	△11.7	2,340	△14.1	1,312	△17.6
23年3月期第3四半期	146,066	21.3	2,632	2,352.0	2,725	899.6	1,591	766.3

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 956百万円 (△23.4%) 23年3月期第3四半期 1,249百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	30.24	—
23年3月期第3四半期	36.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	102,112	50,123	49.1	1,154.82
23年3月期	105,083	49,973	47.6	1,151.28

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 50,123百万円 23年3月期 49,973百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
24年3月期	—	9.00	—		
24年3月期(予想)				9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	221,000	12.2	4,230	3.6	4,160	3.6	2,450	4.4	56.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	45,649,955 株	23年3月期	45,649,955 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	2,246,158 株	23年3月期	2,242,679 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	43,404,894 株	23年3月期3Q	43,411,560 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、本四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現段階において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	5
(四半期連結包括利益計算書)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災で停滞した企業の生産や輸出の回復は順調に進みましたが、欧州財政問題や、円高の長期化及び株価の低迷など、景気の先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの取引に関する業界も、震災や円高による輸出の停滞が海外生産へ拍車をかけつつあるものの、新興国向け設備投資需要は引き続き堅調に推移いたしました。

このような状況下、当社グループは、中期経営計画の中間年度として、商社機能を強化し、次なるもう一段の飛躍に向け、グローバル化戦略を進めてまいりました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,475億11百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益23億24百万円(前年同期比11.7%減)、経常利益23億40百万円(前年同期比14.1%減)、四半期純利益13億12百万円(前年同期比17.6%減)となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりです。

①FA・環境システム事業

【当第3四半期連結売上高444億41百万円(前年同期比2.0%増)、営業利益13億44百万円(前年同期比2.5%増)】

FAシステムでは、震災により製品調達に影響が出たものの、半導体・液晶関連製造装置及び工作機械関連で、中国等の新興国向け需要を中心に好調に推移し、増収となりました。

冷熱住機では、環境商品・リニューアル市場の拡販に注力しましたが、震災の影響による製品調達の支障が長期化し、減収となりました。

ビルシステムでは、震災により生産に支障が出ましたが、6月以降は回復し、増収となりました。

情報通信デバイスでは、医療機関向け情報機器及びRFID等新商材の拡販に注力しましたが、新規IT投資の低迷が継続し、大幅な減収となりました。

②半導体・デバイス事業

【当第3四半期連結売上高800億50百万円(前年同期比0.9%増)、営業利益7億16百万円(前年同期比17.4%減)】

半導体・デバイス事業では、震災によるサプライチェーンの混乱や、電力不足による顧客の生産調整に加え、主要仕入先の生産設備罹災による製品調達への影響を受けましたが、サプライチェーンの回復や、自動車関連等の急速な立ち上がりもあり、横這いとなりました。

海外子会社では、デジタル家電やOA機器向け電子部品の販売が好調に推移し、増収となりました。

③産業デバイス事業

【当第3四半期連結売上高230億17百万円(前年同期比0.7%減)、営業利益2億54百万円(前年同期比41.9%減)】

産業デバイス事業では、震災により主要顧客の生産調整があり、産業機器・自動車関連の回復に復興需要も加わったものの、全面回復までには至らず、横這いとなりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

資産の部は、商品及び製品が 22 億 51 百万円増加しましたが、短期貸付金が 49 億 97 百万円減少したこと等により、資産合計は前連結会計年度末比 29 億 70 百万円減少し、1,021 億 12 百万円となりました。

負債の部は、支払手形及び買掛金が 13 億 1 百万円、未払法人税等が 10 億 24 百万円減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末比 31 億 20 百万円減少し、519 億 89 百万円となりました。

純資産の部は、四半期包括利益 9 億 56 百万円、配当金 7 億 81 百万円の計上等により、純資産合計は前連結会計年度末比 1 億 49 百万円増加し、501 億 23 百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前期末比 1.5 ポイント増加し、49.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第 3 四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末比 11 億 73 百万円減少し、77 億 98 百万円の残高となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第 3 四半期連結累計期間において営業活動に使用した資金は、35 億 11 百万円（前年同期比 13 億 67 百万円増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上 23 億 5 百万円、売上債権・たな卸資産の増加及び仕入債務の減少によるネット資金の減少 46 億 9 百万円、法人税等の支払 20 億 9 百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第 3 四半期連結累計期間において投資活動から得られた資金は、39 億 39 百万円（前年同期比 24 億 29 百万円増）となりました。これは主に、短期貸付金の減少 49 億 97 百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第 3 四半期連結累計期間において財務活動に使用した資金は、15 億 67 百万円（前年同期比 17 億 25 百万円増）となりました。これは主に、短期借入金の減少 8 億 26 百万円と配当金の支払 7 億 39 百万円によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成 23 年 5 月 30 日に公表いたしました数値から変更しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

税金費用については、当第 3 四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,971	7,798
受取手形及び売掛金	56,367	57,197
有価証券	129	1,065
商品及び製品	18,547	20,799
短期貸付金	4,997	—
その他	3,797	3,232
貸倒引当金	△126	△87
流動資産合計	92,685	90,005
固定資産		
有形固定資産	3,923	4,017
無形固定資産	359	345
投資その他の資産		
その他	8,231	7,837
貸倒引当金	△115	△93
投資その他の資産合計	8,116	7,743
固定資産合計	12,398	12,106
資産合計	105,083	102,112
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	46,914	45,612
短期借入金	1,585	673
未払法人税等	1,284	259
その他	2,458	2,435
流動負債合計	52,241	48,981
固定負債		
退職給付引当金	1,674	1,802
役員退職慰労引当金	209	200
その他	984	1,005
固定負債合計	2,867	3,007
負債合計	55,109	51,989
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,334	10,334
資本剰余金	7,375	7,375
利益剰余金	33,775	34,283
自己株式	△810	△811
株主資本合計	50,675	51,181
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	166	△18
為替換算調整勘定	△867	△1,038
その他の包括利益累計額合計	△701	△1,057
純資産合計	49,973	50,123
負債純資産合計	105,083	102,112

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	146,066	147,511
売上原価	132,303	133,651
売上総利益	13,762	13,860
販売費及び一般管理費	11,130	11,535
営業利益	2,632	2,324
営業外収益		
受取利息	22	20
受取配当金	48	54
持分法による投資利益	79	82
その他	118	136
営業外収益合計	268	293
営業外費用		
支払利息	22	41
売上割引	59	52
為替差損	—	87
その他	92	95
営業外費用合計	175	277
経常利益	2,725	2,340
特別利益		
投資有価証券売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	94	—
投資有価証券評価損	15	35
特別損失合計	110	35
税金等調整前四半期純利益	2,615	2,305
法人税等	1,023	993
少数株主損益調整前四半期純利益	1,591	1,312
四半期純利益	1,591	1,312

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,591	1,312
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△92	△183
為替換算調整勘定	△248	△171
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△1
その他の包括利益合計	△342	△356
四半期包括利益	1,249	956
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,249	956
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,615	2,305
減価償却費	297	276
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△60
受取利息及び受取配当金	△71	△74
支払利息	22	41
為替差損益 (△は益)	0	0
持分法による投資損益 (△は益)	△79	△82
有価証券償還損益 (△は益)	△0	△1
固定資産除売却損益 (△は益)	2	△1
投資有価証券売却損益 (△は益)	20	△0
投資有価証券評価損益 (△は益)	15	35
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	94	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,564	△1,198
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,700	△2,403
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,327	△1,007
その他	529	630
小計	△1,489	△1,541
利息及び配当金の受取額	77	80
利息の支払額	△21	△40
法人税等の支払額	△710	△2,009
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,143	△3,511
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	47	130
有形固定資産の取得による支出	△76	△209
有形固定資産の売却による収入	0	2
無形固定資産の取得による支出	△50	△110
投資有価証券の取得による支出	△641	△961
投資有価証券の売却による収入	179	132
短期貸付金の増減額 (△は増加)	1,999	4,997
その他	52	△40
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,510	3,939
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	894	△826
自己株式の純増減額 (△は増加)	△1	△1
配当金の支払額	△735	△739
財務活動によるキャッシュ・フロー	157	△1,567
現金及び現金同等物に係る換算差額	△165	△85
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△641	△1,225
現金及び現金同等物の期首残高	11,150	8,971
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	52
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,509	7,798

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	F A・環境 システム	半導体・ デバイス	産業 デバイス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	43,571	79,306	23,185	146,064	1	146,066	-	146,066
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16	-	4	20	154	174	△174	-
計	43,588	79,306	23,190	146,085	156	146,241	△174	146,066
セグメント利益 (営業利益)	1,311	867	437	2,616	24	2,641	△9	2,632

(注) 1. 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△9百万円は、セグメント間取引消去であります。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	F A・環境 システム	半導体・ デバイス	産業 デバイス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	44,441	80,050	23,017	147,510	1	147,511	-	147,511
セグメント間の内部 売上高又は振替高	41	-	5	46	133	180	△180	-
計	44,483	80,050	23,023	147,556	134	147,691	△180	147,511
セグメント利益 (営業利益)	1,344	716	254	2,314	23	2,338	△14	2,324

(注) 1. 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△14百万円は、セグメント間取引消去であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

ご参考までに、前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間の地域別売上高は以下の通りであります。

前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日）

【地域別売上高】 (単位：百万円)

日本	海外					連結合計
	アジア		北米	欧州	海外計	
	中国	その他				
116,295	17,228	9,001	1,983	1,557	29,770	146,066

- (注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
 2. 連結売上高に占める海外売上高の割合は20.4%であります。

当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

【地域別売上高】 (単位：百万円)

日本	海外					連結合計
	アジア		北米	欧州	海外計	
	中国	その他				
120,242	16,153	9,412	800	902	27,268	147,511

- (注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
 2. 連結売上高に占める海外売上高の割合は18.5%であります。